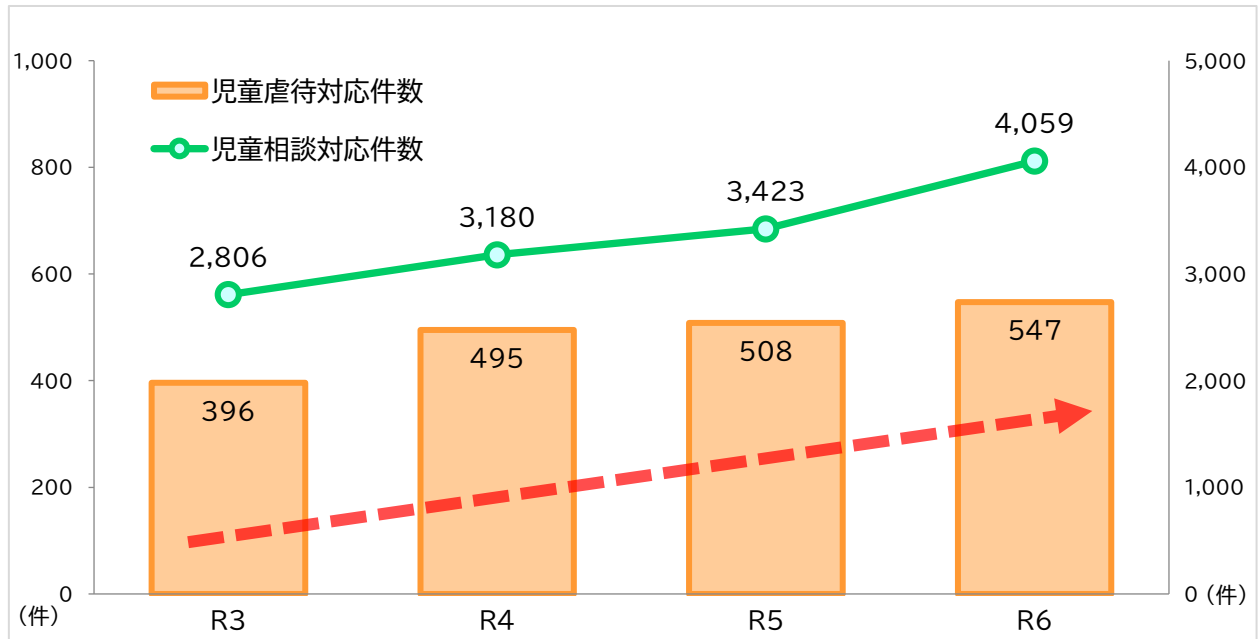


7 児童相談に関する状況 (家庭子ども相談課集計)

(1) 児童相談件数の推移

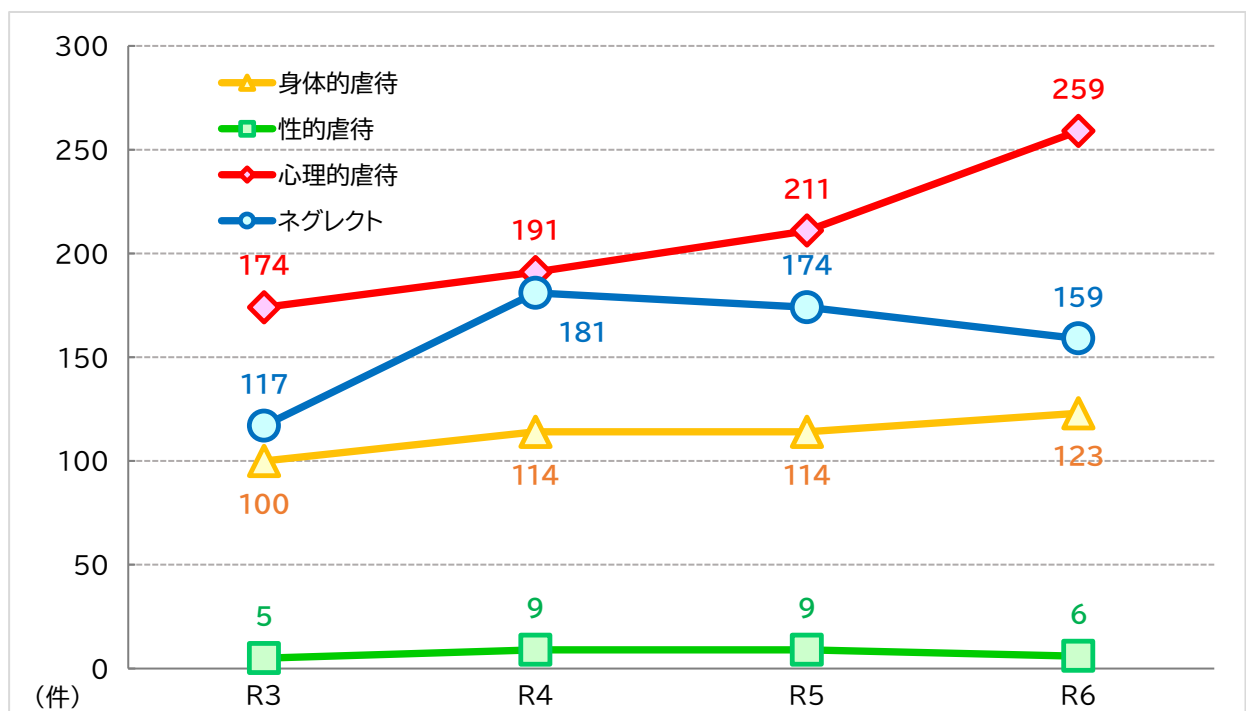
■[図 7-1]児童虐待対応件数及び児童相談対応件数の推移

児童相談、児童虐待対応件数ともに増加傾向にある。



(2) 虐待の種類別件数

■[図 7-2]虐待の種類別の児童虐待対応件数の推移

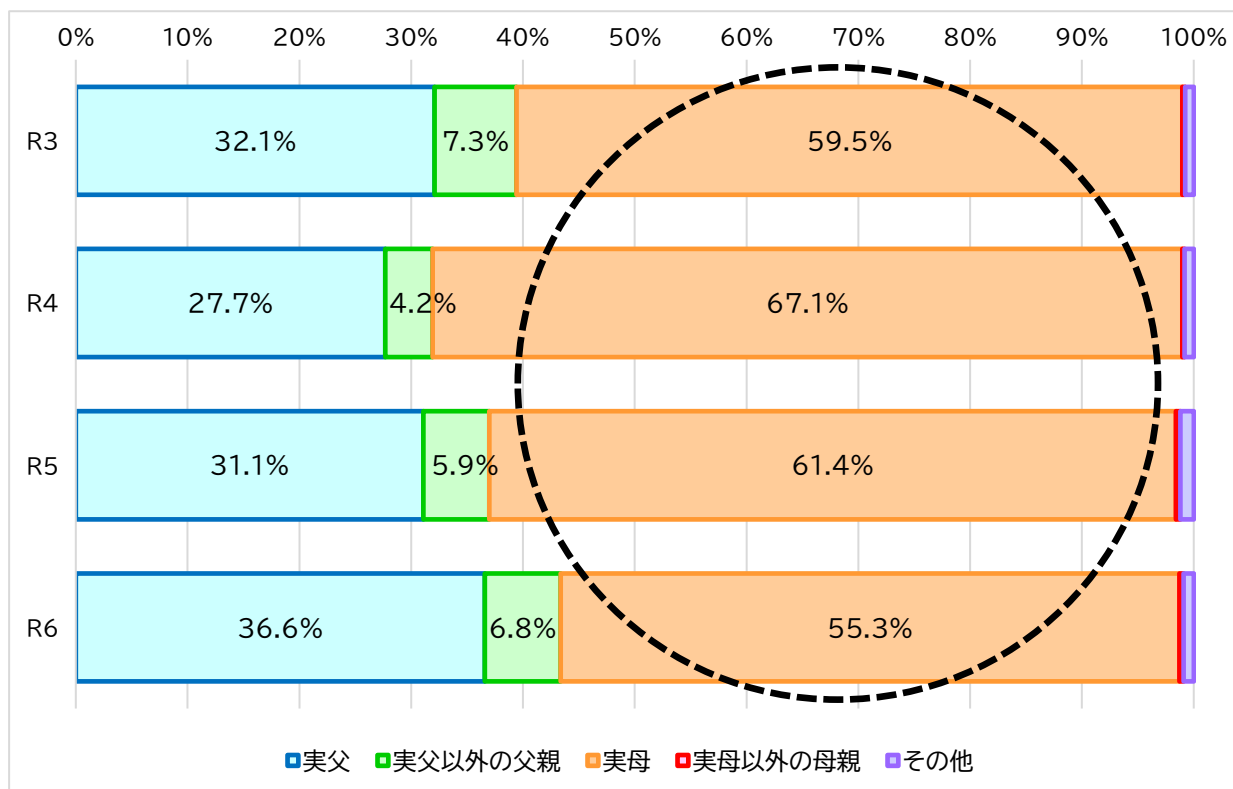


(3) 虐待者別割合

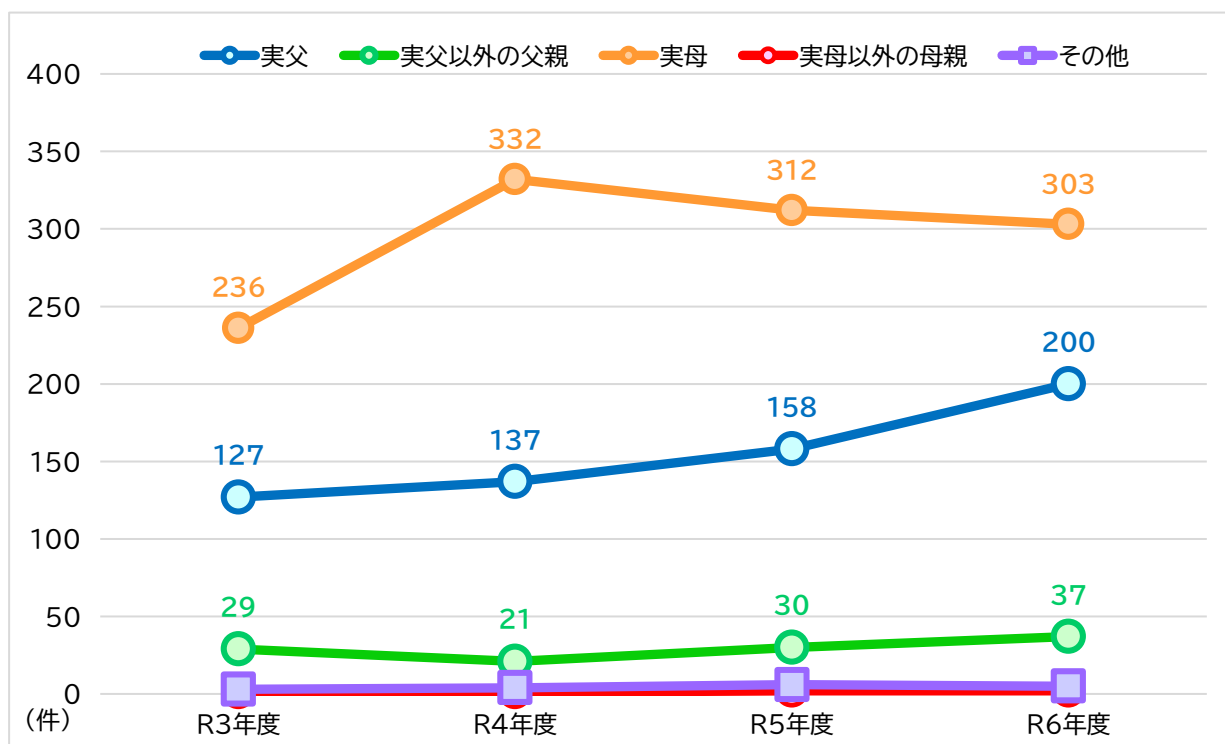
セーフコミュニティの取組を始めた当初は、虐待者の約7割が実母であった。

その後、虐待者の約6割が実母によるものであるが、近年は父親による虐待も認知されている。

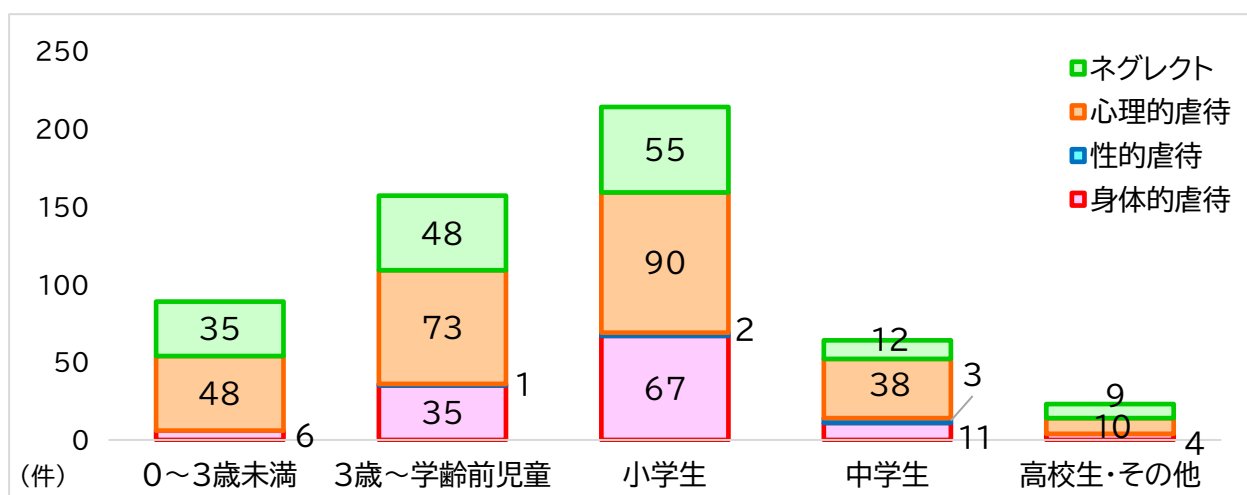
■[図 7-3]児童虐待対応件数のうち、虐待者別の割合



■[図 7-4]虐待者別の虐待対応件数の推移

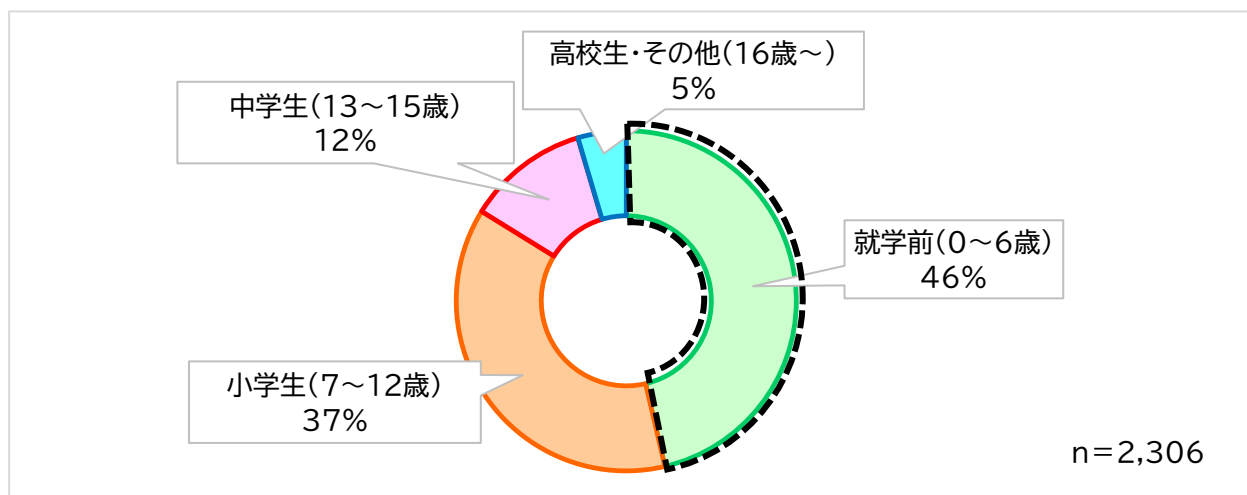


(4) [図 7-5]児童虐待の種類別・年齢別対応件数 (R6)



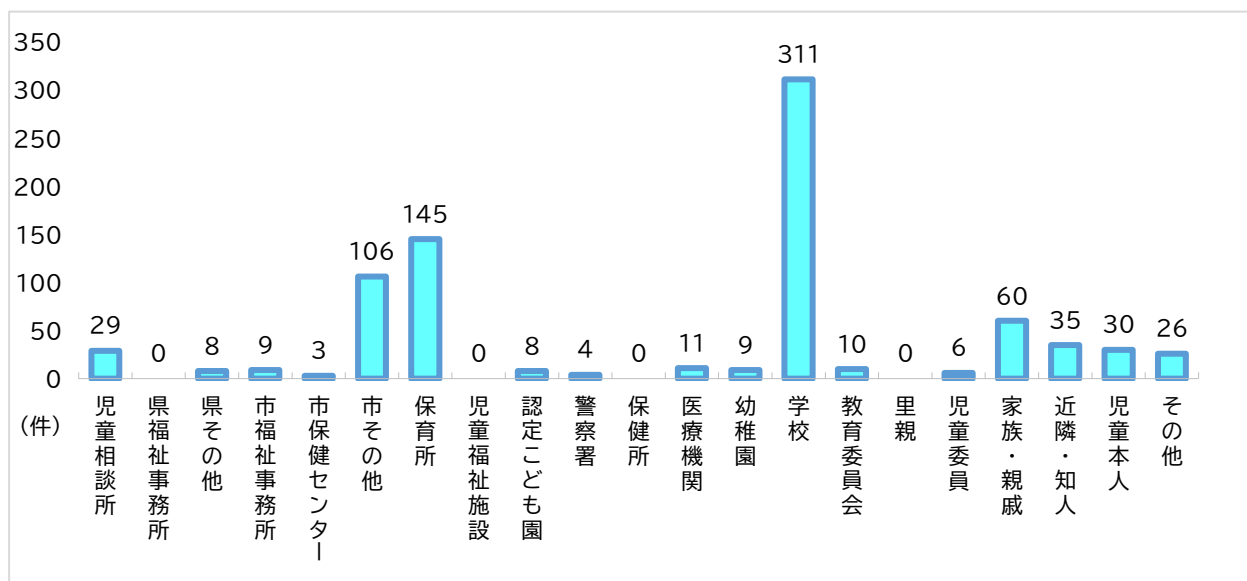
(5) [図 7-6]児童虐待対応件数の年齢別割合 (R2-R7 の5年間)

就学前の乳幼児に対する虐待が約半数を占めている。



(6) 経路別の虐待相談受付件数

■[図 7-7]経路別の児童虐待相談受付件数 (R4~R6 からの3年間)



■[図 7-8]経路別の児童虐待相談受付件数の推移（R4、R5、R6）

「SOS の出し方教室」の実施等により、学校での児童虐待の相談受付件数が増加していると推測される。

